

細 江 宣 裕 准教授

役 職：One-year Master's Program of Public Policy (MP1) ディレクター代理、Two-year Master's Program of Public Policy (MP2) ディレクター代理、政策研究センター長補佐、交通・情報のネットワークと地域経済構造の分析プロジェクト・リーダー
専門分野：応用一般均衡分析、マクロモデル
学 位：博士（経済学）（大阪大学）
略 歴：1995 年大阪大学経済学部卒，同年世界銀行中東・北アフリカ第2局プロジェクト・アシスタント，97-99 年日本学術振興会特別研究員，98 年国際協力事業団「モンゴル国市場化支援調査」団員，99 年大阪大学大学院経済学研究科博士課程修了，同年本学助教授，2002 年イェール大学客員研究員，2007 年本学准教授。

1. 業 績 (A)

(1) 雑誌論文

① 単 著

- * 細江宣裕 (2012) 「原子力発電所の脱落の影響と代替電源導入の効果-9 地域電力市場モデルによる分析」, GRIPS Discussion Paper 12-11.

② 共 著

- * Hosoe, N., Tanaka, M. (2012) "Divestiture of TEPCO for Reparation for the Fukushima Nuclear Accident-A Path to Vertical Unbundling," *Energy Policy* 51: 207-212. (※)
- * 橋本日出男, 濱田弘潤, 細江宣裕 (2012) 「契約理論分析における数値計算アプローチ: 逆選択問題の場合」, 『新潟大学経済論集』 93: 91-135.
- * Hosoe, N., Takagi, S. (2012) "Retail Power Market Competition with Endogenous Entry Decision-An Auction Data Analysis," *Journal of the Japanese and International Economies* 26(3): 351-368. (※)
- * 橋本日出男, 濱田弘潤, 細江宣裕 (2012) 「契約理論分析における数値計算アプローチ: モラル・ハザードの場合」, GRIPS Discussion Paper 12-03.
- * Hosoe, N., Tanaka, M. (2012) "How Much is TEPCO Worth?-Estimating the Fundamental Value of its Thermal Plants," GRIPS Discussion Paper 12-02.

(2) 図 書 (編・共著等)

- * Tanaka, T., Hosoe, N., Qiu, H. (2012) *Risk Assessment of Food Supply: A Computable General Equilibrium Approach*, Cambridge Scholars Publishing.

(3) 学会発表

- * 細江宣裕 (2012) 「原子力発電所の脱落の影響と代替電源導入の効果-9 地域電力市場モデルによる分析」, 応用地域学会 2012 年度研究発表大会, 青森公立大学, 11 月 17-18 日.
- * 細江宣裕 (2012) 「食料供給を輸入に依存する状況下での「食料安全保障」と輸入自由化政策の整合性」, 日本経済学会 2012 年度秋季大会, 九州産業大学, 10 月 7-8 日.
- * 細江宣裕 (2012) 「原子力発電所の脱落の影響と代替電源導入の効果-9 地域電力市場モデルによる分析」, 防災経済分析研究会, 京都大学防災研究所, 12 月 25 日.
- * 細江宣裕 (2012) 「食料供給を輸入に依存する状況下での『食料安全保障』と輸入

自由化政策の整合性」, 第 15 回温暖化モデル研究会, 国際農林水産業研究センター, 12 月 7 日.

- * 高木真吾, 細江宣裕 (2012) "A Structural Estimation Approach to an Asymmetric Auction Model for the Retail Power Market," 社研研究会, 大阪大学社会経済研究所, 10 月 31 日.
- * 高木真吾, 細江宣裕 (2012) 「電力小売市場の非対称入札モデルに関する構造推定」, 企業動学研究会, 一橋大学, 10 月 25 日.
- * 高木真吾, 細江宣裕 (2012) 「電力小売市場の非対称入札モデルに関する構造推定」, 経済理論・政策ワークショップ, 青山学院大学経済研究所, 9 月 11 日.
- * 高木真吾, 細江宣裕 (2012) 「小売り電力市場の非対称入札モデルに関する構造推定」, RIETI 研究会, 経済産業研究所, 6 月 7 日.
- * 細江宣裕 (2012) 「原子力発電所の脱落の影響と代替電源導入の効果-9 地域電力市場モデルによる分析」, 社会経済研究所, 電力中央研究所, 5 月 8 日.
- * 細江宣裕 (2012) 「原子力発電所の脱落の影響と代替電源導入の効果について」, 環境問題研究に係る ESRI セミナー, 内閣府社会経済総合研究所, 7 月 12 日.

(4) その他

- * 阿久根優子(2012) 「東日本大震災による水産クラスターでの損失と復興シナリオの定量化: 動学的応用一般均衡モデルの適用」に対する予定討論者, 応用地域学会 2012 年度研究発表大会, 青森公立大学, 11 月 17-18 日.

2. 助成金による研究

- * (2009-2012 年度) 文部科学省 科学研究費補助金 若手研究(B), 「マクロ経済のリスク要因に対する頑健性分析」(研究代表者)
- * (2009-2012 年度) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B)(一般), 「プロパテント政策のミクロ・マクロ的インパクト」(研究分担者)
- * (2011-2012 年度) 文部科学省 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 「垂直的に関連した複数の寡占的電力市場の実証分析」(研究分担者)
- * (2011-2013 年度) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C), 「震災後の水産業復興政策の経済分析」(研究分担者)
- * (2011-2014 年度) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B), 「ネットワークと集積の経済に関する一般均衡分析」(研究分担者)
- * (2012 年度) 東京経済研究センター, 個人研究助成, 「食料安全保障」と輸入自由化政策の整合性」(研究代表者)
- * (2010-2012 年度) 野村財団, 研究助成, 「東日本大震災後の水産業復興政策と漁業権再編問題」(研究代表者)
- * (2012 年度) 関西電力, 共同研究, 「エネルギー政策・電気事業制度の動向と電気事業への影響に関する研究」(研究代表者)
- * (2011-2012 年度) GRIPS 政策研究センター, プロジェクト, 「交通・情報のネットワークと地域経済構造の分析」(研究代表者)
- * (2011-2012 年度) GRIPS 政策研究センター, プロジェクト, 「垂直的に関連した複数の寡占的電力市場の実証分析」(研究分担者)

3. 教 育

(1) 講 義

- * Economic Modeling for Policy Simulations (春学期)
GTAP 等の国際的産業連関データベースを前提に、コンピュータによる経済モデルのシミュレーション技法について講じた。
- * 事業評価手法 (夏学期)
電気事業や内航海運事業を例にとり、規制の効果・影響に関する評価分析手法について講じた。
- * 経済シミュレーション分析 (秋学期)
日本のデータを前提として、コンピュータによる経済モデルのシミュレーション技法について講じた。
- * 政府と市場 (秋学期)
ミクロ経済学 I/II で修得した経済学の手法を用いて、日常的に目にする社会・経済問題を経済学的視点から分析し、その解決策を提示する訓練を行うことを目指してセミナー形式で経済政策について講じた。

(2) 演 習

- * Public Policy Workshop II (Macroeconomic Policy Area) (冬学期)
Policy Paper のための研究計画を策定させ、提出された研究計画を口頭報告させた。口頭報告の内容に対して、マクロ・財政分野の教員 3 名から改善点や問題点についてアドバイスを与えた。
- * Public Policy Workshop III (Macroeconomic Policy Area)(春学期)
PPWII で提出された研究計画に従って研究を行わせ、中間報告(6 月)と最終報告(7 月)を行わせた。その口頭報告の内容に基づいてマクロ・財政分野の教員 3 名から改善点や問題点についてアドバイスを与え、最終的に提出される論文の内容に反映させた。

(3) 論文指導

- * 博士課程 1 名(公共政策), 博士課程在学中, 主指導.
- * 博士課程 2 名(Policy Analysis), 博士課程在学中, 主指導.
- * 修士課程 1 名(Macroeconomic Policy Program), 修士課程在学中, 主指導.
- * 修士課程 1 名(Economics, Planning and Public Policy Program), 修士課程在学中, 主指導.
- * 修士課程 3 名(MP1 Program), 修士課程修了, 主指導.
- * 修士課程 3 名(MP2 Program), 修士課程在学中, 主指導.

4. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 研究教育評議会, 委員
- * 地域政策プログラム・コミッティー, 委員
- * 政策分析プログラム・コミッティー, 委員
- * 開発分析プログラム・コミッティー, 委員
- * One-year Master's Program of Public Policy (MP1) Committee, 委員
- * Two-year Master's Program of Public Policy (MP2) Committee, 委員
- * QE Committee, 委員

- * Macroeconomics QE Committee, 委員長
- * キャンパス・アジア運営委員会, 委員
- * ソフトウェア検討委員会, 委員
- * キャンパスネットワーク管理運用業務仕様策定委員会, 委員
- * Phd Candidate Seminar, 委員
- * 政策研究センター運営調査会, 委員
- * 政策研究センター補佐会, 委員
- (2) タスクフォース
 - * 大学の世界展開力強化事業, 構想責任者
- (3) その他
 - * One-year Master's Program of Public Policy (MP1), ディレクター代理
 - * Two-year Master's Program of Public Policy (MP2), ディレクター代理
 - * 政策研究センター, センター長補佐

5. 社会的貢献 (A)

- (1) 他大学・研究所等における活動
 - * Institute of Public Policy, Auckland University of Technology における博士論文審査 (学外審査委員)
 - * 大連民族学院における応用一般均衡に関する研究活動に対する助言
- (2) 財団法人等における活動
 - * JICA「応用一般均衡(CGЕ)モデル構築運用能力向上プロジェクト」における助言
同事業で来日したシリア人エコノミストに対する特別講義(2回)
- (3) 学会等における活動
 - * ポリシー・モデリング・ワークショップ, 事務局
 - * ポリシー・モデリング・コンファレンス 2013(徳島大学)の企画・運営
 - * 査読者 2回(African Journal of Agricultural Research, International Economic Journal)